

立教学院 2024 年度決算について (説明資料)

立教学院は、2025 年 5 月 23 日の理事会において 2024 年度決算が承認されたことを受け、ホームページにおいて決算資料を公表しました。
財務部では、これらの決算資料の概要を説明し、本学院の財政状況を分かりやすく示すことを目的として本資料を作成しました。
決算資料と併せてご覧いただくことで、より多くの方々に本学院の財政状況をご理解いただきたいと考えています。

決算資料公表 URL <https://rec.rikkyo.ac.jp/disclosure/reports/>

*各計算書および図において、単位未満を端数処理しているため、合計等に差異が生じている場合があります。

立教学院財務部

1 事業活動収支計算書

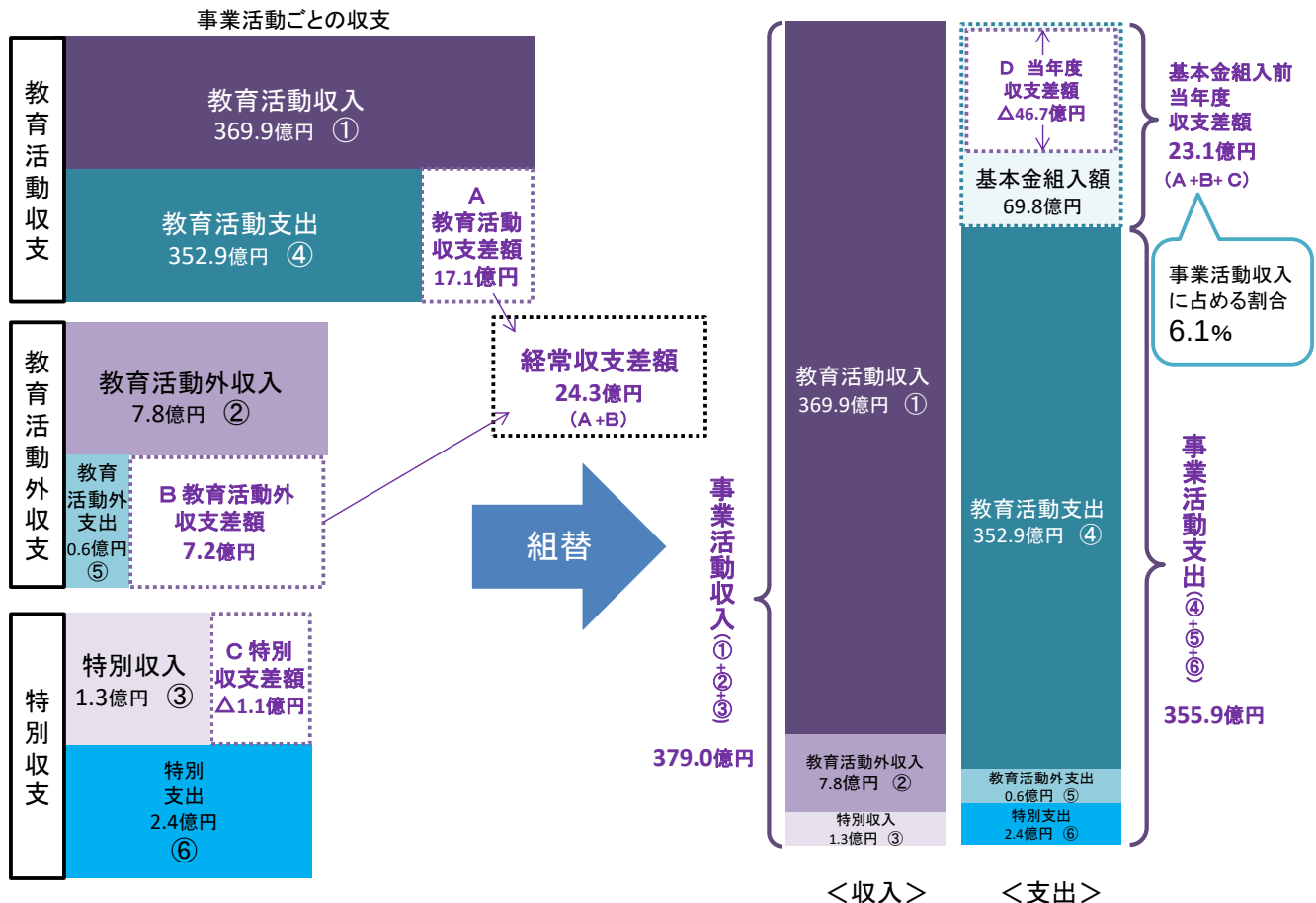
事業活動収支計算書とは、「教育活動収支」「教育活動外収支」「特別収支」の3つの事業活動に分けて、当該会計年度の事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、収支の均衡状態を示すものです。

「教育活動収支」と「教育活動外収支」では経常的な活動による収支状況を表し、臨時的な収支については「特別収支」で表します。

収入面では、経常費等補助金が予算比で減少した一方、志願者数増加による入学検定料等の手数料、2024年6月より開始したセントポール募金等による寄付金や、受託事業収入が増加し、教育活動収入は予算比で6.2億円増加しました。支出面では、建設スケジュールの見直し等による修繕費、委託費等の減少や、発注先変更等による印刷製本費の減少等で教育研究経費が予算比で12.2億円減少し、教育活動支出は13.8億円減少しました。その結果、教育活動収支差額は17.1億円のプラスとなりました。受取利息・配当金の増加により、教育活動外収支差額は7.2億円のプラスとなり、これら2つの収支差額を合計した経常収支差額は24.3億円のプラスとなりました。

特別収支差額は資産処分差額の増加等により、1.1億円のマイナスとなりました。以上の結果、基本金組入前当年度収支差額はプラス23.1億円、事業活動収支差額比率は6.1%となりました。

図1 事業活動収支計算書の構成 概要



事業活動収支計算書

経常的な収支のうち、本業である教育研究活動に関する区分です。

寄贈者から贈与された金銭の合計です。
※施設・設備のための寄付金、現物寄付を除く。

国または地方公共団体等から受け入れた金銭の合計です。
※施設・設備のための補助金を除く。

減価償却額等を含む教育研究に係る経費の合計です。

減価償却額等を含む法人業務や学生募集に係る経費の合計です。

■教育活動収支

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差異 (△印超過)
学生生徒等納付金	28,820,794	28,946,646	△ 125,852
手数料	1,949,195	2,184,353	△ 235,158
●寄付金	766,617	1,049,280	△ 282,663
●経常費等補助金	3,876,161	3,697,204	178,957
付随事業収入	239,881	300,001	△ 60,120
雑収入	718,129	814,576	△ 96,447
教育活動収入計	36,370,777	36,992,062	△ 621,285
人件費	18,825,860	18,646,138	179,722
●教育研究経費	15,738,372	14,521,418	1,216,954
●管理経費	2,105,019	2,119,119	△ 14,100
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	36,669,251	35,286,675	1,382,576
教育活動収支差額	△ 298,474	1,705,387	△ 2,003,861

経常的な収支のうち、財務活動に関する区分です。

収益事業収入等、学校法人の教育研究活動以外の活動による収入です。

■教育活動外収支

科 目	予 算	決 算	差異 (△印超過)
受取利息・配当金	453,665	574,970	△ 121,305
●その他の教育活動外収入	210,000	210,000	0
教育活動外収入計	663,665	784,970	△ 121,305
借入金等利息	62,235	62,233	2
その他教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	62,235	62,233	2
教育活動外収支差額	601,430	722,737	△ 121,307

経常的な事業活動による収支差額です。
(教育活動収支差額 + 教育活動外収支差額)

●経常収支差額 302,956 2,428,124 △ 2,125,168

一時的に発生した臨時的な収支に関する区分です。

施設・設備のための寄付金、現物寄付、補助金等です。

固定資産の除却や有価証券の売却損等、資産の処分に伴う費用です。

■特別収支

科 目	予 算	決 算	差異 (△印超過)
資産売却差額	0	22,332	△ 22,332
●その他の特別収入	55,300	103,950	△ 48,650
特別収入計	55,300	126,282	△ 70,982
●資産処分差額	218,954	239,906	△ 20,952
その他の特別支出	0	579	△ 579
特別支出計	218,954	240,485	△ 21,531
特別収支差額	-163,654	-114,203	△ 49,451

経常収支差額と特別収支差額の合計で、当該年度全体の収支差額です。

[予備費] (191,185) 103,815 103,815

当該年度の支出額のうち、学校法人を維持するために必要な資産を継続的に保持するための組入れ額です。

●基本金組入前当年度収支差額	35,487	2,313,921	△ 2,278,434
●基本金組入額合計	△ 8,835,995	△ 6,983,004	△ 1,852,991
当年度収支差額	△ 8,800,508	△ 4,669,082	△ 4,131,426
前年度繰越収支差額	△ 9,665,187	△ 9,665,187	0
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 18,465,695	△ 14,334,269	△ 4,131,426
(参考)			
事業活動収入計	37,089,742	37,903,314	△ 813,572
事業活動支出計	37,054,255	35,589,392	1,464,863

※千円未満四捨五入

2 資金収支計算書

資金収支計算書とは、当該会計年度の諸活動に対応するすべての資金の収入および支出の内容と、支払資金の収入および支出についてその顚末を明らかにするものです。

建設計画に基づき、新座キャンパス 9 号館建設、池袋キャンパス 12 号館の空調・照明設備の更新や旧江戸川乱歩邸改修等、教育研究に必要な設備の更新を行いました。補助金収入が予算比 2.0 億円減少した一方、手数料収入（2.4 億円増）、寄付金収入（2.5 億円増）、受託事業収入（0.6 億円増）が予算比で増加しました。施設関係支出は、新ミッCHEL 館（仮称）の建設スケジュール変更に伴う支払時期の変更、執行段階での競争原理・折衝効果等により、予算比で 12.6 億円減少しました。資産運用支出（各種特定資産の積み増し）は池袋中学校・高等学校、新座中学校・高等学校の両校において新たな特定資産を設定したため、予算比で 6.5 億円増加しました。その結果、翌年度繰越支払資金は 62.8 億円（前年度比 0.5 億円減）となりました。

資金収支計算書

(単位：千円)

■収入の部

科 目	予 算	決 算	差異 (△印超過)
大学・高等学校・中学校・小学校において納入された学費です。			
●学生生徒等納付金収入	28,820,794	28,946,646	△ 125,852
●手数料収入	1,949,195	2,184,353	△ 235,158
●寄付金収入	774,617	1,025,275	△ 250,658
●補助金収入	3,923,461	3,726,781	196,680
●資産売却収入	0	22,332	△ 22,332
●付随事業・収益事業収入	449,881	510,001	△ 60,120
●受取利息・配当金収入	453,665	574,970	△ 121,305
●雑収入	718,129	812,138	△ 94,009
●借入金等収入	0	0	0
●前受金収入	5,101,620	5,041,824	59,797
●その他の収入	9,659,488	7,702,949	1,956,539
●資金収入調整勘定	△ 5,816,846	△ 5,880,355	63,509
●前年度繰越支払資金	6,335,735	6,335,735	—
収入の部合計	52,369,739	51,002,650	1,367,089

■支出の部

科 目	予 算	決 算	差異 (△印超過)
●人件費支出	18,919,599	18,735,292	184,307
●教育研究経費支出	13,315,103	12,078,877	1,236,226
●管理経費支出	1,985,743	2,003,964	△ 18,221
●借入金等利息支出	62,235	62,233	2
●借入金等返済支出	567,810	567,810	0
●施設関係支出	7,652,017	6,390,323	1,261,694
●設備関係支出	1,020,906	870,891	150,015
●資産運用支出	3,763,703	4,414,446	△ 650,743
●その他の支出	558,885	869,817	△ 310,932
[予備費]	(204,748)		
	90,252		90,252
●資金支出調整勘定	△ 539,331	△ 1,271,888	732,557
●翌年度繰越支払資金	4,972,817	6,280,886	△ 1,308,069
支出の部合計	52,369,739	51,002,650	1,367,089

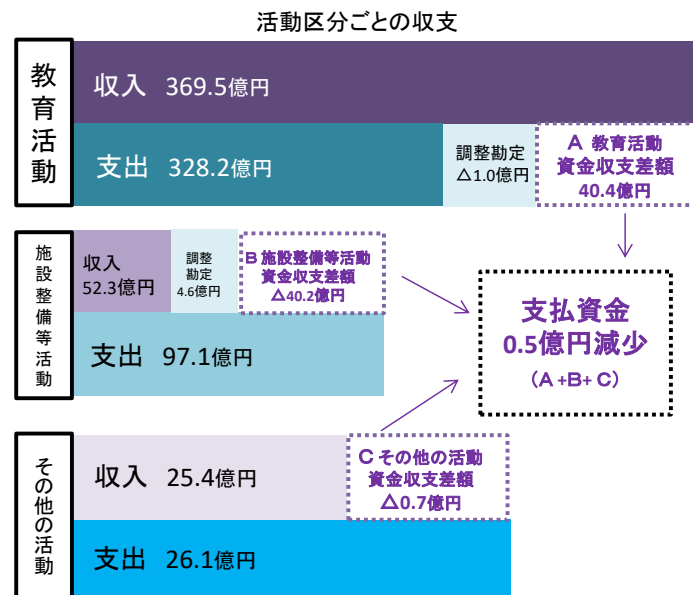
※千円未満四捨五入

3 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書とは、資金収支計算書を「教育活動」、「施設整備等活動」、「その他の活動」の3つの活動区分に分けて、活動区分ごとの資金の流れを把握するものです。

教育活動による資金収支は40.4億円のプラスになりました。施設整備等活動による資金収支は、新座キャンパス9号館建設工事、池袋キャンパス12号館の空調・照明等更新工事、旧江戸川乱歩邸改修工事への支出を行った他、将来の施設設備の整備に向けて特定資産の積極的な積み増しを行ったため、40.2億円のマイナスとなりました。その他の活動による資金収支も、財政基盤強化のための特定目的資産の積み増しを行ったため0.7億円のマイナスとなりました。以上の結果、翌年度繰越支払資金は前年度比同水準となりました。

図2 活動区分資金収支計算書の構成 概要



活動区分資金収支計算書

いわゆる“学校法人の本業”で、キャッシュフローベースでの採算がどの程度確保できたかを明らかにする区分です。

● 教育活動による資金収支

(単位：千円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	28,946,646
手数料収入	2,184,353
特別寄付金収入	757,932
一般寄付金収入	257,289
経常費等補助金収入	3,697,204
付随事業収入	300,001
雑収入	810,485
教育活動資金収入計	36,953,912
人件費支出	18,735,292
教育研究経費支出	12,078,877
管理経費支出	2,003,385
教育活動資金支出計	32,817,554
差引	4,136,358
調整勘定等	△ 98,197
教育活動資金収支差額	4,038,161

土地や建物の購入・建設のための施設関係支出や、備品等を購入するための設備関係支出、それらの財源になる寄付金、補助金、特定資産に関する区分です。

● 施設整備等活動による資金収支

科 目	金 額
施設設備寄付金収入	10,054
施設設備補助金収入	29,577
建設資金引当特定資産取崩収入	5,185,618
施設整備等活動資金収入計	5,225,249
施設関係支出	6,390,323
設備関係支出	870,891
減価償却引当特定資産繰入支出	329,131
建設資金引当特定資産繰入支出	2,116,559
施設整備等活動資金支出計	9,706,904
差引	△ 4,481,655
調整勘定等	461,688
施設整備等活動資金収支差額	△ 4,019,967

経常的な活動による資金収支差額です。

● 小計（教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額） 18,194

借入金、貸付金、資産運用等の主に財務活動に関する区分です。

● その他の活動による資金収支

科 目	金 額
特定目的引当特定資産取崩収入	1,497,055
貸付金回収収入	30,191
その他	224,078
小計	1,751,323
受取利息・配当金収入	574,970
収益事業収入	210,000
過年度修正収入	1,652
その他の活動資金収入計	2,537,945
借入金等返済支出	567,810
第3号基本金引当特定資産繰入支出	70,000
退職給与引当特定資産繰入支出	170,428
特定目的引当資産繰入支出	1,728,328
特許権支出	709
その他	7,888
小計	2,545,163
借入金等利息支出	62,233
過年度修正支出	579
その他の活動資金支出計	2,607,975
差引	△ 70,030
調整勘定等	△ 3,014
その他の活動資金収支差額	△ 73,043

支払資金の増減額（小計 + その他の活動資金収支差額） △ 54,849

前年度繰越支払資金 6,335,735

翌年度繰越支払資金 6,280,886

※千円未満四捨五入

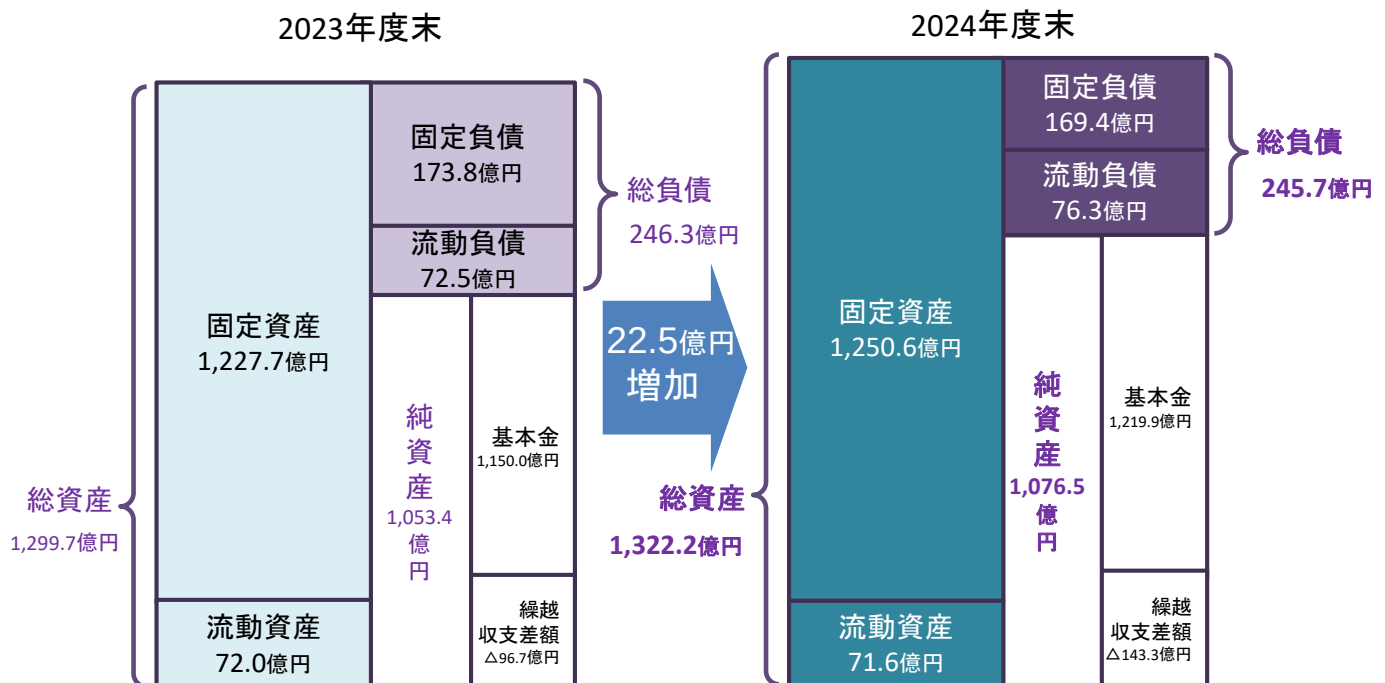
4 貸借対照表

貸借対照表とは、一定時点（3月末現在）における財産の状況を明らかにするものです。

有形固定資産のうち、土地は池袋キャンパス隣接地を取得したことにより0.6億円増加し、建物は新座キャンパス9号館竣工等により30.9億円増加しています。新ミッチェル館（仮称）、新研究室棟（仮称）建設による建設仮勘定等により、その他の有形固定資産は14.2億円増加しました。特定資産は、今後の投資財源の確保に向け、積極的な積み増しを行う一方で、新座キャンパス9号館、野球場防球ネット、旧江戸川乱歩邸、新ミッチェル館（仮称）、新研究室等（仮称）建設計画の財源として取り崩しを行ったこと等により22.5億円減少し、620.6億円となりました。固定負債は、主に借入金の返済により4.3億円減少し、169.4億円となりました。純資産は23.1億円増加し、1,076.5億円となりました。

また、長期的に財政状態が安定しているかを測る指標に「純資産構成比率」があり、数値が高いほど、必要な資産を自力で調達していることを表し、財政的に安定していることを示します。本学院の同比率は81.4%と増加傾向にあり、健全性が高まっているといえます。（財政比率については「立教学院決算経年推移資料（2020年度～2024年度）」もご参照ください。）

図3 貸借対照表の構成 概要



純資産構成比率

$$\left(\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}} \right)$$

81.0%

0.4ポイント増加

81.4%

貸借対照表

■資産の部

(単位：千円)

科 目	2024年度末	2023年度末	増 減
固定資産	125,063,488	122,770,355	2,293,134
有形固定資産	60,741,337	56,172,956	4,568,381
土地	7,682,914	7,622,955	59,959
建物	36,134,620	33,042,926	3,091,694
その他	16,923,803	15,507,075	1,416,729
● 特定資産	62,062,285	64,308,171	△ 2,245,886
第3号基本金引当特定資産	3,318,526	3,248,526	70,000
退職給与引当特定資産	7,405,366	7,432,523	△ 27,157
減価償却引当特定資産	7,675,233	7,346,103	329,131
建設資金引当特定資産	13,488,152	16,557,210	△ 3,069,058
その他	30,175,009	29,723,809	451,200
● その他の固定資産	2,259,866	2,289,227	△ 29,361
有価証券	15,000	15,000	0
長期貸付金	2,175,287	2,204,244	△ 28,957
その他	69,580	69,984	△ 404
流動資産	7,158,942	7,199,219	△ 40,278
現金預金	6,280,886	6,335,735	△ 54,849
その他	878,056	863,485	14,571
資産の部合計	132,222,430	129,969,574	2,252,856

使途が特定された預金等の額です。

特定資産に該当しない無形固定資産等(有価証券、奨学貸付金等)の額です。

■負債の部

科 目	2024年度末	2023年度末	増 減
固定負債	16,939,243	17,376,280	△ 437,037
長期借入金	3,157,140	3,724,950	△ 567,810
退職給与引当金	6,768,575	6,857,729	△ 89,154
その他	7,013,527	6,793,601	219,926
流動負債	7,630,186	7,254,214	375,972
短期借入金	567,810	567,810	0
未払金	1,228,297	807,534	420,763
前受金	5,041,824	5,085,837	△ 44,014
その他	792,256	793,033	△ 777
負債の部合計	24,569,429	24,630,494	△ 61,065

■純資産の部

科 目	2024年度末	2023年度末	増 減
● 基本金	121,987,271	115,004,267	6,983,004
● 第1号基本金	116,350,704	109,437,700	6,913,004
● 第3号基本金	3,318,526	3,248,526	70,000
● 第4号基本金	2,318,041	2,318,041	0
繰越収支差額	△ 14,334,269	△ 9,665,187	△ 4,669,082
翌年度繰越収支差額	△ 14,334,269	△ 9,665,187	△ 4,669,082
純資産の部合計	107,653,001	105,339,080	2,313,921

基本金とは、学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その事業活動収入のうちから組み入れられた金額です。

自己資金で取得した、教育研究に必要な固定資産(土地、建物、備品、図書等)の額です。

奨学基金等、基金として継続的に保持し、運用する資産の額です。

最低限保持すべき約1カ月の運転資金に相当する額です。

科 目	2024年度末	2023年度末	増 減
負債及び純資産の部合計	132,222,430	129,969,574	2,252,856

※千円未満四捨五入

おわりに

以上のとおり、2024年度は、建物の建設やICT環境の整備を含めた教室改修等、更なる教育・研究活動を推進して参りました。

本学院は2024年度に創立150周年という節目の年を迎えました。今後も、「学校教育の進化」「一貫連携教育の進化」を教育テーマに掲げ、オール学院で質の高い教育研究活動を維持し発展させていくため、引き続き適切な財政運営に努めていきたいと考えています。

以上